公益社団法人　信和会

看護奨学生だより

2022年5月号

公益社団法人信和会　理事長　小林充

元気ですか?コロナ禍のもと、皆さんの学生生活もいろんな制約を受けているのだろうなと思います。同時に、戦争によって命と暮らしを奪われている人たちが世界には居ること、目を背けてはなりません。私たちがコロナ禍の２年余で改めて感じているのは、一人にならない、しない、つながることの大切さです。学べることを喜び楽しみ、つながることをあきらめない。できること、できる形を見つけ出しながら、しなやかにしたたかに皆さんと一緒に育ちたいなと思います。

公益社団法人信和会　看護部長　鴨川聡子

新年度が始まり１ヶ月が経ちました。新入学生の方は、看護学生としての生活に少し慣れてきた頃かと思います。また、卒年生は、本格的な臨地実習を迎え、悩みながらも学びの多い日々を送っていることと思います。この季節は、若葉も瑞々しく、様々な色の花が咲き、とても過ごしやすく良い季節と言えるでしょう。しかしながら、新型コロナウィルスの流行に終息の気配すらありません。看護学生の皆さんには、自分と家族、臨地実習で出会う患者さんや利用者さん、周りの人たちを守ることを念頭に、それぞれが感染予防に留意していただきたいと願っております。

京都民医連あすかい病院 看護部長　征矢陽子

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生の皆さんは、さらに看護師への道が近づいてきましたね。COVID19感染症も３年目に入り、何者か見えてきてワクチンや治療薬もでてきています。現場は、対策を取りウイルスと共存しながら、通常の医療や介護の提供ができるように踏ん張っています。まだまだ気を緩めることはできませんが、実習も最大限受け入れていきます。知識や経験を重ねて、成長していきましょうね。

そして、何よりいのちや生活を一瞬で破壊する戦争が起きました。いのち・人権を守る医療従事者として、許してはいけないことです。人が人を傷つけることのない社会、笑い声のある生活のために、それぞれが平和・憲法・対話力について考える機会をもってみてくださいね。

京都民医連あすかい病院 副看護部長　山際正樹

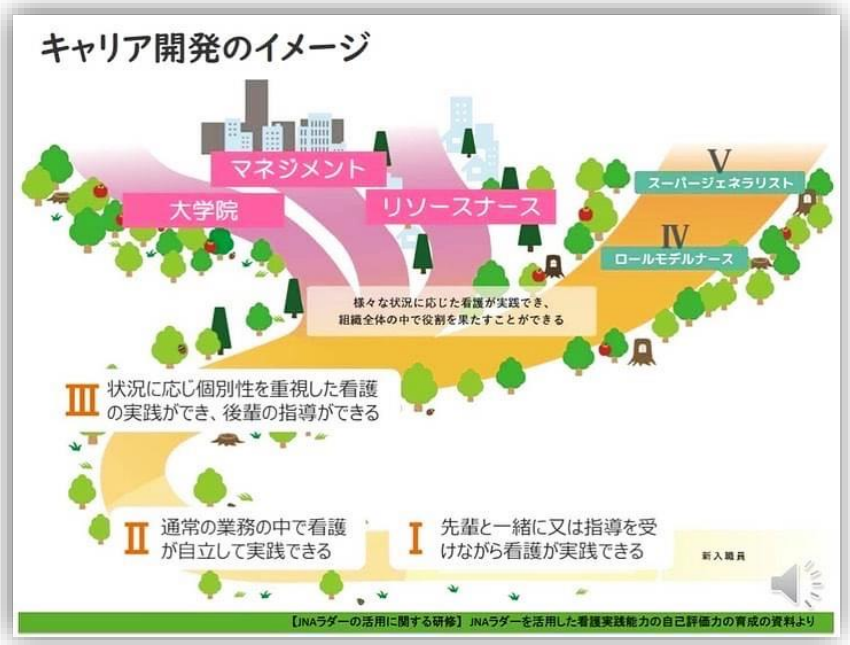
こんにちは。今年度も看護学生担当です。どうぞよろしくお願いします。

新しい学期が始まりました！１年生は学校生活に少し慣れてきたでしょうか？まだまだコロナ流行の下、オンライン授業もあると思いますが、積極的に質問などして学びを深めていって下さい。２年生（４年課程では２・３年生）は授業・実習と学ばなければならないことが多くなってきますね。定期的にリフレッシュしながら頑張ってください。卒業年度生は、とにかく実習ですね。学内実習や、実習内容の制限などは続くと思いますが、今できる事をしっかり行い、就職後のことをイメージしながら学んでいって下さい。

奨学生のつどいで皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

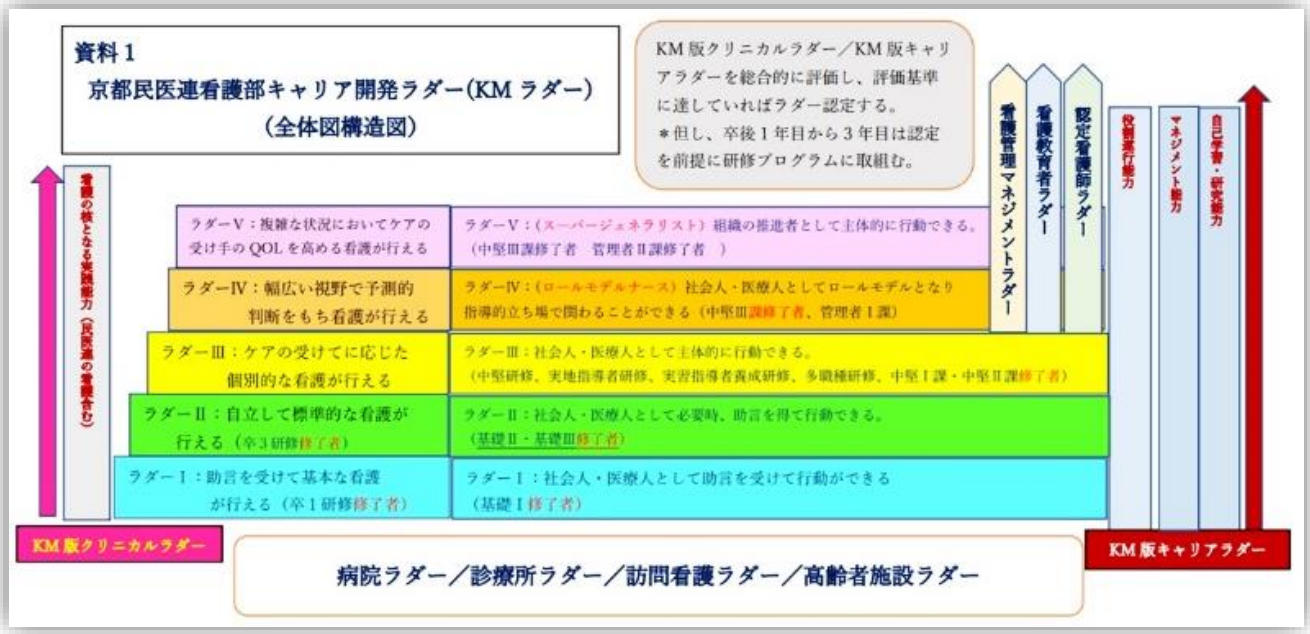
法人・病院の取り組み

キャリア開発ラダーシステム



京都民医連看護部では、2022 年度より『京都民医連看護師キャリア開発ラダーシステム』が導入されました。

元々、京都民医連では、充実した教育制度が構築されており、これまではそれに準じて教育を実施し、各看護師のキャリア開発を行ってきました。



そして、その教育制度をさらに発展させるために、①日本看護協会のクリニカルラダー、②新人看護職員研修ガイドライン、③京都民医連教育要項の３つを組み合わせて、『京都民医連看護師キャリア開発ラダー』が作成されました。

ラダーはⅠ～Ⅴに分かれており、それぞれの段階を経験や能力に合わせてステップアップしていきます。１ 年目の新人看護師はラダーⅠ取得を目指して研修を受けるとともに自己研鑽していくことになります。その後、２ 年目・３ 年目はラダーⅡ取得を目指して取り組んでいきます。

まだ、運用が始まったばかりですが、今まで以上に自分が目指すべき看護師像を明確にして、キャリアアップを図っていくことができると思います。

東山診療所　リニューアルオープン

2022年3月2日には外来診療、3日には通所リハビリがリニューアルオープンしました。建設中、ご近所の方々には騒音や振動など、ご迷惑をおかけいたしましたが、皆様のご理解とご協力のもと、無事に建て替え完了する事が出来ました。

10年以上前から進められてきた東山診療所新築計画ですが、新しい診療所を楽しみにしながらも、様々な理由で残念ながら目にする事が叶わなくなってしまった方も多くおられます。

また、信和会で取り組んだ建設協力金は早い段階で目標額に達し、今回の東山診療所の建て替えは、東山の友の会の方や患者さん、地域の方だけでなく、信和会に関わる方々の大きな期待を背負っていると思っています。その期待を裏切らないためにも、新しくなった東山診療所で精いっぱい頑張りたいと思います。今後とも東山診療所をよろしくお願いいたします。

川端診療所　透析センター

当診療所は駅チカ（三条京阪駅徒歩５分、神宮丸太町駅徒歩３分）で通勤、通院しやすい場所にあります。今年も川端通や疎水には満開の桜が一斉に木々を埋め、コロナ禍で疲れた心を癒してくれました。

センターには約９０名の血液透析患者様が通院されています。

治療はいち早く導入し経験を積んだオンラインHDF（血液透析で取り除くことのできない毒素を４０～６０ℓの透析液を体内に置換し取り除く方法）を主に行っています。

チーム医療で安心安全な透析治療を行うとともに細やかな看護が提供できるよう日々のＣｆで事例を深めています。

透析看護の特徴は長い年月、患者様に寄り添い支えることができることにあり、やりがいにもつながっています。さらに腎臓だけでなく循環器系、脳神経系などといった幅広い科を学び精通できることも透析看護の魅力です。

あすかい病院　キラっと看護

入院中転倒を繰り返す患者さんがおられ、当初転倒しないように車椅子に座っているときはスタッフが隣にいて動くのをお止めしたりテーブルの近くに座ってもらうようにしていました。

しかし、患者さんは自由に動けないことに不快感が強くなり、無理に動こうとしたり口調が強くなることが多くなりました。

そこで、時間のあるときにスタッフが身体を支えて一緒に歩行するようにしました。すると患者さんも少し落ち着かれ、無理に動こうとされることが減りました。

医療スタッフとしては転倒をさせないことを優先したくなりますが、そうすることで逆に転倒リスクをあげてしまうこともあります。

杓子定規な対応をするのではなく、今回のように一緒に歩かせてもらうなど、患者さん一人ひとりの気持ちに寄り添った看護をこれからもしていきたいと思います。

新しい仲間が増えました！

今年も新しい仲間が入職しました。

４月１日に看護師 14 名、検査技師１名、リハビリ４名があすかい病院に入職❣

新人看護師は早速 ４ 月からラダー研修が始まり、配属された病棟では技術と知識を身に付けるために、緊張しながらも日々の看護業務を頑張っています。

無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す民医連の職員として、これから一緒に頑張っていきましょう(^〇^))！！